

第88号/2025年5月2日

おおさきかみじま



議会だより

令和7年 2月定例会	令和7年度予算――2～3	全国町村議会議長会表彰――17
	今年度の主要事業・新規事業――4～5	委員会報告――18～19
	わか町の予算主なやり取り――6～7	新たな議員――20
	決まった主なこと――8	正・副議長、各常任委員会委員――21
	8議員が一般質問――9～17	あれから・編集後記――22

予算を可決

予算総額(一般会計+特別会計+下水道事業会計)
今年度の町債(借金)

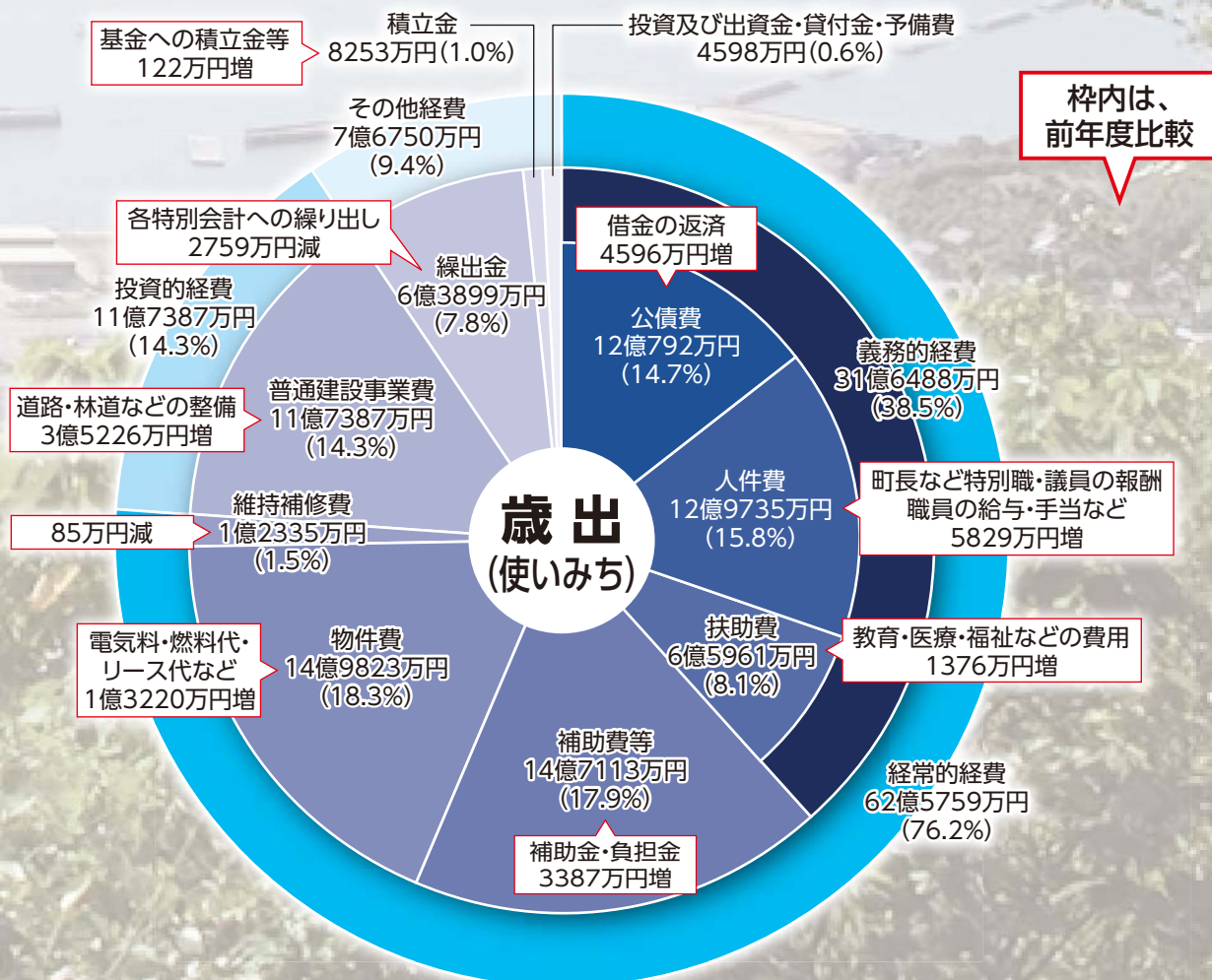
会計別予算総括表

会計名		予算額	前年度比%
一般会計		81億9896万円	8.1%
特別会計	国民健康保険事業	8億7213万円	△17.9%
	介護保険事業	14億9691万円	△3.4%
	後期高齢者医療保険事業	2億 900万円	△0.5%
	港湾管理	2528万円	1.1%
	漁港管理	577万円	17.1%
	交通事業	1億 303万円	△6.1%
	干拓地管理	536万円	△19.2%
	合 計	27億1748万円	△8.4%
下水道事業会計		5億4357万円	△10.1%
合 計		114億6001万円	2.7%

令和7年第1回大崎上島町議会定例会は、2月13日から2月26日まで開かれました。

町長の施政方針の表明があり、条例改正を含む議案等、2月補正予算、新年度一般会計及び特別会計予算・下水道事業会計を審議しました。

一般質問では8人の議員が、町政の課題などについてたどしました。



第1回定例会 (2月議会)

令和7年度

114億6001万円
10億9190万円

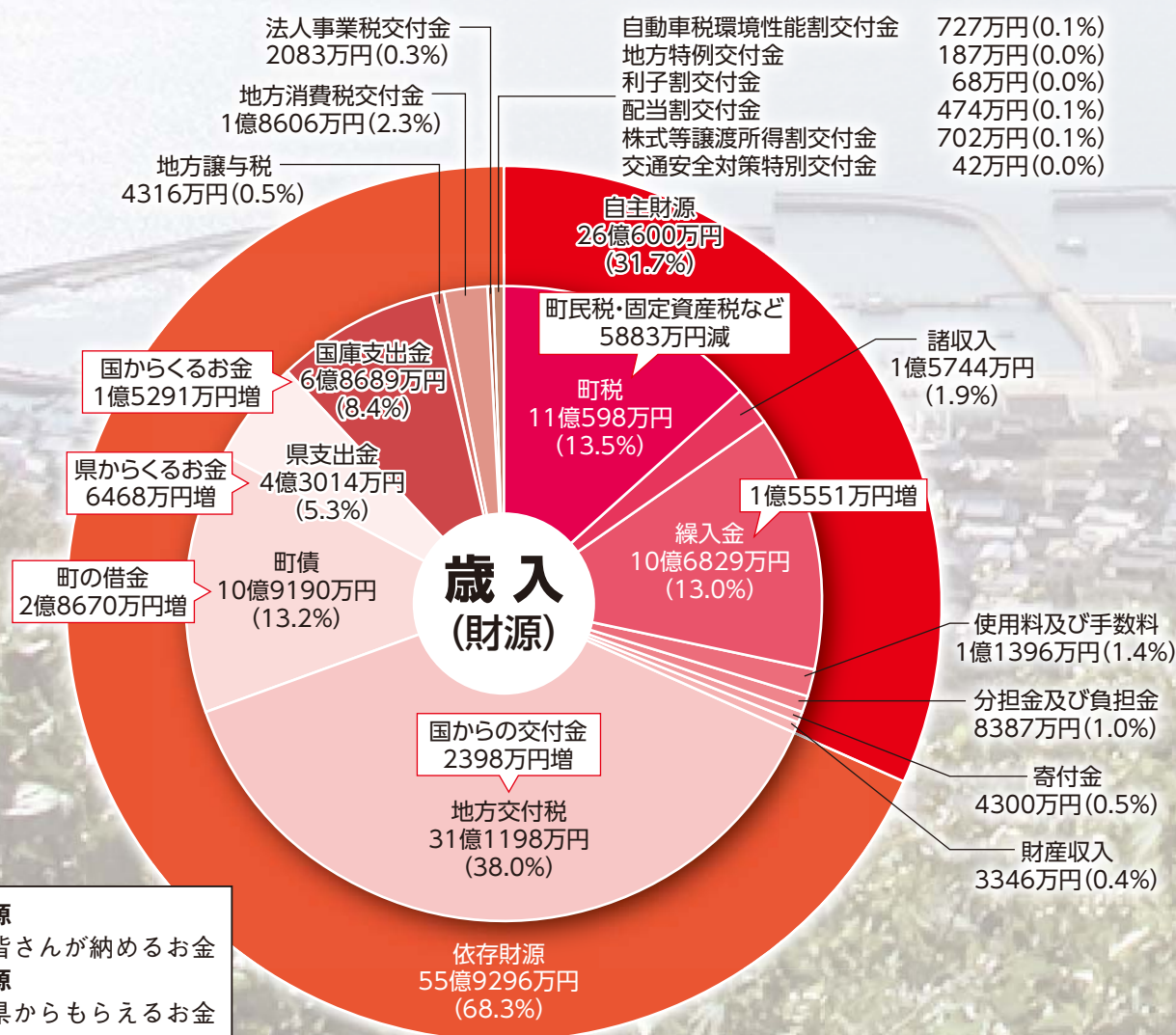
令和7年度一般会計予算 81億9896万円

対前年度比
8.1%
増額

[町長施政方針より抜粋]

町の目指す将来像、海景色の映えるまち～瀬戸内海から幸せつなぐ「豊かな自然と学びの島」～を目指し、4つの基本目標に沿った28の基本施策に取り組んでいく

1. 「大崎上島を愛する人が育ち・集まるまち」
2. 「元気に充実した日々を過ごし、安心して住み続けられるまち」
3. 「活気に溢れ、安全で快適な住みやすいまち」
4. 「住民に寄り添い、力を合わせて、みんなでつくるまち」



新規事業



定住促進住宅建設事業

交流人口、関係人口の拡大に伴い、移住定住の受け皿となる、新たな定住促進住宅を整備します。

事業費

3億801万円

あんしん見守りサービス事業

一人暮らし高齢者等の見守りサービスを充実させ、住み慣れた地域で、安心して暮らせる環境を支えます。

事業費

259万円

消防・防災設備機材等整備費

いつ起こるかわからない災害等に備え、大規模災害を想定した備蓄品確保のための新たな備蓄倉庫のほか、既存倉庫への進入路の拡幅等により、迅速な災害対応に努めます。また、救急救命措置に対応できるように、各地区消防屯所にAEDセットを設置します。

事業費

2億4,661万円

野賀海水浴場改修事業

本町、有数の観光スポットである野賀海水浴場（木江地区）周辺のさらなる魅力化を図るため、整備計画に基づき一体的な改修を進めていきます。

事業費

7,843万円

今年度の主要・

町立学校情報機器等整備事業

国の「GIGAスクール構想の実現」に向け、R2年に整備した児童生徒1人1台のPC端末を更新等により、引き続き教育現場でのDX化を推進し、より良い教育環境構築を推進して行きます。

事業費 3,493万円

中小企業振興対策費

中小企業に対する振興対策として創業支援、持続化支援を行っています。

事業費 374万円

広島駅ビルプロモーション事業

JR広島駅ビルで新たに展開される「Dots」事業に参画し、年間を通して、島の魅力や特産品のPRを行い、人の流れを呼び込みます。

事業費 165万円

こども医療費に係る交通費助成事業

医療費の助成に加え、新たに、お子様の疾病等により町外医療機関を受診する際に係る、自動車等の交通費を助成します。

事業費 60万円

主なやりと

問 カーボンニュートラルについて具体的にどのような事業をするのか伺う。

【水橋議員】

答 次世代自動車の補助金や脱炭素に関するアドバイザの経費を計上している。

【企画課長】

問 フィッシャリーナについて利用料の値上げ条例ができた。利用者からはいきなり言われても困る、議会を見て初めて知ったとお叱りを受けた。この使用料の使用目的は。

【水橋議員】

答 使用目的についてはフィッシャリーナの修繕に充てる。

【建設課長】



問 水道水の負担金が大幅な減額になっているが理由を伺う。

【閑田議員】

答 竹原から長島への水道供給をする水道管工事の負担金で、あと10年足らずでこの負担金はゼロになっていく。

【下水道課長】

問 給食センター費について物価高騰の中で前年度比較は960万円ほど増えるようになっている、学校等についても問題提起をしたが、大崎の給食センターで今の全体の人数分の調理が十分賄えると思うが、そういった形で少しずつでも節減、効率化に向けて取り組んでいく考えはあるか。人手不足について長らく言われていたが、これを統合することによって少しでも効率的な、人数の確保についても効率化を図っていくべきだと思うがどう思つか。

【閑田議員】



答 以前から給食センターの統合については話が出ている。小学校の適正化は昨年12月に検討委員会を設置し、適正化に進んでいくと思っている。教育委員会としては、3つある給食センターについても、それに付随して考えており、大崎の給食センターで中学校も含めて約4校分の給食を作る能力は十分あると思うが、そこで給食を作っている方の確保等を踏まえると、すぐに1つでやることは今の段階では難しいというところで、小学校の適正化を含め、給食センターも検討していく。

【教育課長】

問 「あんしん見守りサービス事業」について、新規事業となるので、事業内容の説明を。

【森議員】

答 現在、自宅で誰にも看取られずに亡くなる孤独死ではなく、社会的に孤立して長期間発見されない孤立死が個人の尊厳を侵される重要な課題となっている、本町においても昨年、令和6年2件あった。こういった個人の尊厳を侵されるような孤立死をなくすために、今現在大崎上島町の見守り活動では民生委員、児童委員の活動に加えて高齢者巡回相談員や緊急通報システム、また配食サービスやサロンによる見守り活動等を行っている、それに加えてこういったICTを活用した見守り事業を新たに整備することにより、より地域の見守り活動を推進するために今回計上したものだ。

内容については、株式会社ヤマト運輸が行っている「クロネコ見守りサービス、

わが町の予算



ハローライト訪問プラン」というものを町から業務委託をし、町内に住所を有します70歳以上の独り暮らし高齢者や障害者手帳をお持ちの方を対象に、その対象者の利用者宅のトイレや洗面所などの電球をハローライト電球に交換することによって、24時間中にオン、オフがない場合に異常を検知して事前に登録されたご家族やご親類にメールで通知を行うもの。生野島、契島地区はサービスの利用提供外となっているが、働きかけを行っている。

【福祉課長】

問 農地整備諸費の内容を伺う。

【尾尻議員】

答 農業関係で作った排水機場の維持管理、委託料では農道の維持管理、工事請負費では沈砂池の浚渫工事やポンプの設置工事などを予定している。

【建設課長】



問 議員の質問に対して各課長・町長それぞれ答弁したが、その中で「今ここで申し上げられません」と答弁、申し上げられなかったら、数字に載せられないと思うが、そういうものが予算に載っている。それはおかしいと思うが、その辺を聞く。

もう一つ火葬場の駐車場、暗いたため防犯灯をお願いする。

【上青木議員】

答 回答がすぐできない部分について、今後このようなことがないように努めます。

また、火葬場の電灯の件については、この後早速、状況を確認をし、必要であれば整備するように努めます。

【副町長】



問 生活保護費が約1,000万円ほど少なくなっている理由は何かありますか。

【渡辺議員】

生活保護費は生活保護受給世帯へお支払いするものですが、確かに比較で前年度から997万5,000円下がっています。

コロナ禍で全国的には生活保護の受給者は増えておりますが、大崎上島町ではそんなに増えてはおりません。現在40世帯を超えたぐらいであり、その相当な金額を予算計上しています。

【福祉課長】



決まった主なこと

第1回定例会(2月議会)

大崎上島町議会は、令和7年第1回定例会を令和7年2月13日木曜日から14日間の会期で開会した。

8名で16件の一般質問、1件の報告、28件の議案、6件の発議中1件の否決で閉会した。

- ・専決処分した事件の報告について
- ・令和6年度大崎上島町一般会計補正予算（第7号）
- ・令和6年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）（他3件の特別会計補正予算）
- ・令和6年度大崎上島町下水道事業会計補正予算（第4号）
- ・大崎上島町課設置条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について
- ・刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について
- ・大崎上島町学習交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町犯罪被害者等支援条例について
- ・大崎上島町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町沖浦漁港フィッシャリーナ条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町第3次長期総合計画基本構想の策定について
- ・公の施設の指定管理者の指定について
- ・新たに生じた土地の確認及び字の区域の変更について 他1件
- ・令和7年度大崎上島町一般会計予算
- ・令和7年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計予算（他6件の特別会計予算）
- ・令和7年度大崎上島町下水道事業会計予算
- ・大崎上島町議会委員会条例の一部を改正する条例について
- ・大崎上島町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について
- ・地方自治法第180条第1項の規定による専決処分事項の指定の一部改正について
- ・大崎上島町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例について【否決】
- ・夫婦別姓制度の導入に反対する意見書について
- ・核兵器禁止条約の実効性を高めるために日本政府が主導的役割を果たすことを求める意見書について

一般質問

町政を問う

8人の議員が16項目を質問



みずはし なおゆき
水橋 直行 議員

質問（水橋議員）

施政方針で第3次総合計画について大きく触れている、その中で、10年後の人口を5,500人と設定している。今の人口減のペースで考えると、新生児を含め毎年50人程度の新规定住受入れが必要となる。

新しく定住していただく方、今定住していただいている方、どちらにも住みやすく安定した生活を守るためにも、交通インフラは大切。

我が町は、造船とミカンの島、また近年は教育にも力を入れて町の発展に進んでいると思うが、造船所の多い木江地区に入るための道路は、どこから回っても道幅が狭いため、大型車両が通行するのは大変困難。

問

道幅の狭い危険な道路の対応はいつまでにするのか

答

時期を見定め前向きかつ慎重な対応をする

また、島内の玄関口の一つである垂水港から白水港の間の一部が狭く、大変危険な箇所がある。また、来年度から大西港の栈橋の架け替え事業が始まりますが、降りてからの道は両サイド溝があり大変危険な場所となっており、また道幅もあり広いとは言えないため、大型車両の擦れ違いを含め大変危険な場所となっている。全て県道とはいえ何十年も放置された状態、町としてこれからどのように対応していくのか、できるだけ早い対応が必要だと思うが、期間的にいつまでに改善を目指しているか。

答弁（建設課長）

本町の県道にある道路改良の現状は、事業の必要性や影響に関して地権者と合意形成ができていない箇所の用地取得交渉が長引いて

おり、そのため用地取得困難な箇所の道路改良が遅れている。問題点を粘り強く調整するとともに、引き続き各方面の情報収集に努め、町長はもとより担当課としては県と緊密な連携を図り、計画的な事業推進を継続する。

答弁（町長）

東広島市の土木建築事務所も含めて前向きに離島の実態を理解していただいて進めていかななくてはいけない。建設課長も含めて、副町長も含めて、用地買収もこれから町として協力できることは全面的協力をする。相手があることなので、今県がつくる事業計画も今度、更新の時期が来る。それまでに用地買収が必須になる。町長自らも動き、その時期をちゃんと見定めながら、前向きでありかつ慎重な対

応をする。

（水橋議員）

安心・安全なまちづくりのために、なるべく早めな対応をし、魅力のあるまちづくりに貢献していただきたいと思うし、僕たちもできる限り協力しますので、これからもよろしく願います。





はま だ しょう 議員
浜田 幸造

問 木江港湾の高潮対策事業は

答 高潮対策事業は非常に重要だ

元説明会を行い、事業につ

いては理解され、平成26年度から事業着手すると聞いていたが、未だ本格的な実施に至っていない。

令和5年度に東川河口

(元木江商工会館前)に洪水時や満潮時に、河川や海からの外水が逆流するのを防止する「フラップゲート」を設置し、一定の成果が見られるが、このままでは殆ど意味がないと思う。

東側に流れている川の河口にもう1基の「フラップゲート」の設置と、低い護

岸一帯を高上げコンクリート等で本格的に実施することにより、地域住民が安全で安心して暮らせるようになる。早期に本格的な事業着手して貰いたい。

答弁(建設課長)

高潮対策事業は、海岸地域における津波などの自然災害から人々の生命財産を守るため非常に重要だと認識している。

高潮は、特に台風や暴風雨の際に発生しやすく、海面が異常に上昇する現象であり、沿岸地域に深刻な浸水被害をもたらす可能性がある。そのため高潮対策事業は、堤防や護岸の整備を通じて、これらの自然災害によるリスクを軽減することとを目的としている。

本地区は、現況護岸が低く、老朽化も進んでいることから、整備の必要性が高いとされており、広島県の海岸防災プランにおいて整備実施箇所として位置づけられ、東川河口に令和6年1月に「大型フラップゲ

ート」が設置され、高潮整備事業が始められた。

高潮対策事業は、自然災害のリスクの軽減・環境保護・地域社会の安心感の向上など、多くの面で役割を果たしている。これらの事業を通じて、持続可能な地域社会の構築が期待されていることから、県は今後も整備の継続を予定している。引き続き事業推進に向け強く要望して行く。



問 岩白区く外表区間の県道の整備を

答 早期に道路整備等が進められるよう県に要望していく

質問(浜田議員)

この区間の道路は、狹隘で車が安全で安心して通行し難い、危険で不便な道路である。

令和6年5月にドローンを飛ばし、現地調査を実施したように聞いているが、島内を一周している循環道で重要なライフラインでもあり、また地域の発展の為に早期に整備が必要である。

島内には、明石地区・矢弓地区・古江地区・大田木江線・大西地区・天満地区(木江支所)天満棧橋)6箇所の整備が必要な箇所があり、すでに事業着手している地区もある。この地区を含め島内の県道が安全で安心して通行できるよう、引き続き広島県に強く要望

地震・台風等に大きな災害にいつ遭うかわからない。本地区に住んでいる住民の生命・財産を守るためには、海岸の整備が急がれる。広島県は平成24年度に測量・ボーリング調査を行い、実施図により平成25年8月頃に地

して貰いたい。

答弁（建設課長）

狭隘区間の道路整備は、交通の流れをスムーズにし、事故を減少させ、安全な道路環境を提供することで交通事故のリスクを低減し、ドライバーや歩行者の安全を確保するために不可欠な施策と認識している。

岩白区（外表区）については、海岸保全事業の未完成の区間もあり、道路の幅も狭いため、海岸整備事業と道路整備について、広島県に要望してきているが、早期に道路整備が進められるよう強く要望していく。

（浜田議員）

岩白区間の道路幅員が狭いうえで舗装状態が悪いので、歩行者・自転車・バイク等が通行中に転倒し、大きな事故に繋がる危険性が

高い。何年も前から要望してきているが、大きな事故に遭う前に道路舗装の改善を強く要望して貰いたい。



わたなべ としのり 議員

質問（渡辺議員）

予算執行権及び予算を伴う政策立案権は、町長の専属権である。初年度は、前町長の組まれた予算を執行するだけであったが、6年度は町長として初めての予算組及びその予算の執行が行われた。その政策執行の満足度を伺う。

答弁（町長）

町長就任後初めての本格的な予算編成となり、政策を守るもの、変えるもの、後世に託すものの3つに分け6つの柱を立てた。

①定住、企業人材誘致PR促進は定住促進住宅建設事業

②地域福祉対策、医療体制確保はシルバー人材センター事業

問

予算組及び予算執行の満足度は

答

及第点は町民の判断に

- ③危機管理、防災対策は集会所設備事業で太陽光パネルの設置
- ④地場産業発展、観光は商工観光設備事業で野賀海水浴場の整備
- ⑤子育て、教育充実、町立学校情報機器整備事業で教育DXネットワークの推進
- ⑥離島交通、生活環境対策、離島振興策事業で生野島の自動航行船等を執行し、かなりの達成率を示していると思う。一生懸命やったので及第点をとれたかは町民判断による。

（渡辺議員）

予算組は、国の基本方針、県の基本方針それに続いて市町の基本方針で政策と予算組するのが通例である。自己財源の少ない市町に

において、主な財源は交付金、補助金、過疎債であるが、交付金は8割程度使い道が限定されており、補助金は目的以外使えない。過疎債も国県への伺いを立てねばならない。いくら町長に予算権、執行権があるにしても思い通りの予算組ができないのを分かつつ質問した。

今、町の政策の理念方針に基づく24事業について、課長に検証してもらった。結果、事情により繰り越したとなった事業も一つ二つはあったが、ほとんどが執行されている。新年度も引き続き同様な努力を望む。



しんどう まさみち
進藤 雅通 議員

問

放課後等デイサービスの今後。

答

あらゆる善後策の中で何がいかと
いうことをこれから検討していく。

質問（進藤議員）

放課後等デイサービス利用される児童や保護者の為にも絶対続けてほしい事業と思っているが、何人ぐらい利用され、運営はうまくいっているのか伺いたい。

答弁（福祉課長）

現在、旧大崎幼稚園で放課後等デイサービスを行い、おおむね5名程度の子供さんがご利用している。

質問（進藤議員）

旧大崎幼稚園は、特別支援学校の教室もあり、一緒に建物に放課後等デイサービスの部屋もあり、支援学校の

答弁（福祉課長）

生徒さんは学校が終わればすぐ放課後等デイサービスに行く事ができるため、このままこの場所で継続してほしいと思うが可能か。

答弁（町長）
あらゆる善後策の中で何がいかということをこれから検討していく。

問

道路整備の
パトロール

答

定期的な点検と必要な維持管理に努め、区長や地域住民からの情報もいただきたい。

質問（進藤議員）

道路整備の件で、パトロールをしていると言われているが、このパトロールをしている中で、整備補修する場所の優先順位等をつけて

答弁（建設課長）

島内の農道や林道は路線長が長く、近年耕作放棄地が増加した影響で受益者の方々による維持管理は困難となっている現状。

農道、林道は、農業生産活動を支える重要な基盤であり、地域の生活や経済活動にも密接に関連しているため、今後とも農道、林道の定期的な点検と必要な維持管理に努めていく。また、区長さんからの要望など、情報をいただきたい。

再質問（進藤議員）

要望があれば対応して行くと言うことで良いか。

答弁（建設課長）

基本的にはそう思っている。何分予算の制約もあるので、時間をいただくことが必要なときもあるもので、理解をお願いする。

質問（進藤議員）

大串の県道整備で、今現

在、盛土で土圧かけているが、土圧で道路にひび割れが酷いため、4年ほど前にアスファルトを引き直したが、またひび割れが酷く道路中央までひび割れが沢山できている。人や車が通ると離合が困難で、土手に落ちる危険性もある。
パトロールをしている中で地域からの要望がなくても補修を検討することはないのである。

答弁（建設課長）

状況は知っている。盛土を行って、今後30年ぐらいは沈下が続くという話もある。

その中で、県道なので、県の担当課にひび割れや沈下の現状を伝えていく、補修要望を行っている。県からの回答は、今年の4月末までにひび割れの補修等は一通りに行うと伺っている。

再質問（進藤議員）

4月中には補修すると言うことで良いか。



答弁（建設課長）

今年の補修については、最小限の補修で何とか対応したいと伺っているのですが、まだ全体の舗装をやり替えるのは、ちよつと大規模なものは無理だが、またその辺は路肩の傷み具合に応じて県に要望して行く。

（進藤議員）

最小限の整備っていうのが具体的ではないので分からないが、車と人が、安全に通れるような整備願います。

一般質問



かん だ たいすけ 議員
関田 大祐

質問（関田議員）

悪水溜が堆積物、上流からの土砂等の流出等によって浅くなり、ボラの大量死や悪臭の発生源になっていることについて、令和元年9月定例会で質問した際に、浚渫も含めて試算や検討するとの答弁があった。

しかし、その後何の検討もされないまま時間が経過し、昨年3月の答弁でも何も示されなかった。

ここまで、災害対策として排水機能の強化等の取組はされてきた。その成果は出てきていると思われるが、悪臭に悩まされる周辺住民の生活環境の改善には程遠い状況だ。早急に対策を講じるべきだと考えるが。

問

悪水溜の環境改善のための浚渫を

答

多額の費用がかかり困難

答弁（建設課長）

悪水溜の悪臭を抑えることは、地域の環境保全や住民の生活の質を向上させるために重要と考えている。

そのため、水質を改善する方法としては、物理的手法、科学的手法、生物的手法などの活用が有効と思われる。

まず物理的手法については、底土の浚渫や水の循環を促進するためのポンプの設置が有効で、ポンプについては既に設置済みであり、水位を一定に保ったり循環したりすることで悪臭の発生は改善できると考えている。

浚渫については、有効と認識しているが、隣接地に影響のないように広く浅く浚渫する方法は、今の概算工事費では、浚渫土の土質、

運搬方法、処分先も不確定ながら試算すると、測量試験費に1,600万円、それから本体の工事については3億1,700万円程度、最低でも必要と見込んでいる。

ほかには、科学的手法とって藻を殺したり、また消臭剤とかというものもあると聞く。その辺りについては、まだ検討が進んでいないので、専門家と協議をしていかなければならないと考えている。

また、生物的手法というのも利用できるということで、微生物の分解を利用した方法があるということで聞いているが、どの方法が適正であるかということは検討はしていくべきだと考えている。





もり
森 ルイ 議員

問

外猫対策として必要な
不妊去勢手術代の補助は

答

現状では補助することとは
考えていない

質問（森議員）

令和6年9月議会で
も質問しているが、外
猫対策について伺う。

猫は1年に2、3回
出産し、妊娠期間は
2ヶ月、生後半年ほど
で妊娠可能となり、増
えるスピードを知らず
にエサやりしているこ
ともある。猫が増えれ
ば糞尿被害などで迷惑
だと思ふ人も出てくる
ことや、譲渡先を見つ
けるのも大変なため、
外猫を増やさないよう
不妊去勢手術が必要だ
が、県が手術代を負担
してくれる地域猫活動
ができない場合に町が
手術代の補助をする考
えはないか。

答弁（保健衛生課長）

町への猫に関する問合せ、
苦情等については、様々な
ご意見をいただいている。
この中で、飼い猫ではない
猫の対応については、人と
猫が共生できる社会を目指
す活動である「地域猫活動」
を推進しており、餌やりや
トイレの管理など環境を整
え、不幸な猫を1匹でも減
らし、地域の方々への被害
もなくすることが一番である
と考えている。広島県を中
心とした地域猫活動の普及
に向け、引き続き動物愛護
センターなどと連携し、登
録推進を含め、情報発信を
していく。

地域猫活動の現状として
は、令和6年度も新たに県
の地域猫活動の承認を受け
た地区もある。明確な役割

の下で、町の立場としては、
引き続き広島県の地域猫活
動を側面から支援すること
を目的とし、県の承認を受
けた地域猫を不妊去勢する
ための動物病院への猫の運
搬、保護器具の貸出しや手
術の際のノミ取り剤の配布
などを行う。

また、猫のふん尿や器物
損壊等の苦情がひどい地域
については、令和6年度に
引き続き実証実験的に猫が
嫌う超音波の発生装置など
を貸し出すなどの対応を行
うとともに、無責任な餌や
りの防止や地域猫活動の推
進を目的として、啓発チラ
シ配布などの活動を継続し
て行っていく。

手術代の補助は現状では
考えていない。

問

今後の子育て支援は

答

町内に診療機関のない診療科目に子ども
が通院する場合にフリー代を助成する
新規事業を予算計上している

質問（森議員）

今後の子育て支援につい
て伺う。

- ① 今後の子育て支援の町の
方向性は
- ② 休止中の「きらきらラン
ド」の来年度の予定は
- ③ 旧ルンビニ幼稚園2階の
子ども遊び場継続は
- ④ 三原特別支援学校大崎分
教室と放課後デイサービス
を利用する際の駐車場整備
などの対策は
- ⑤ 産後ケア事業のホーム
ページ掲載内容の訂正、費
用や内容の見直しは
- ⑥ 放課後子ども教室（大崎）
の来年度の受け入れ状況は

答弁（福祉課長）

- ① 現在、令和7年度から令
和11年度までの子ども施策
計画として、第3期子ど
も・子育て支援事業計画を
策定中。また、子育て世帯

に対する包括的な支援のた
めの体制強化を図るために、
大崎上島町こども家庭セン
ターを令和8年4月を目標
に設立する。

令和7年度新規事業とし
て、町内に診療機関のない
診療科目に車で子どもを連
れて通院する場合にフレ
リー代を助成する事業を予
算計上している。

② 委託先による地域子育て
支援事業「きらきらランド」
を実施する予定。

③ 地域子育て支援拠点事業
は、子育て親子の交流の場
の提供と交流の促進を図る
ことにより、子育ての不安
感を緩和し、子供の健やか
な育ちを支援することを
目的としており、当面の間、
旧ルンビニ幼稚園2階を遊
び場として開放する。

答弁（町長）

④関係部署と調整をして整えていけるものを整理していく。

答弁（保健衛生課長）

⑤ホームページは至急確認をして、訂正があれば訂正する。費用や内容の見直しは今後、検討していく。

答弁（教育課長）

⑥現在の50人という人数については無理であろうと教育委員会としては判断しており、定員が30人ということではそれをめどに考えている。入会保留の場合には早めに通知する。



おじり やすじ
尾尻 康二 議員

質問（尾尻議員）

町長は大崎上島町第三次

長期総合計画を策定し、施政方針を示した。計画は10年後の目標人口を5500人と設定している。私は、島内の人口減少が加速しており、それに対する施策（移住・定住促進、産業・観光振興、雇用創出、就業環境の整備、学校教育の充実）が第1に急がれる施策と思う。また、行政経費、人件費、物件費の増加、各事業の実施が物価上昇による資材価格および人手不足による人件費の増加により難しくなっている。人口減少を受けての組織体制、施設を見直し整備し、経費の節減を行い、既存事業についても見直し、再構築することもあると思う。どのような

問 施政方針への取組は

答

誰もが住んで良かったと思うまちづくりを推進する。

施策を重点的に実施、展開していくのか。

答弁（町長）

このまま町の人口が減少し続ければ、行政サービスの低下、生活関連施設の撤退や地域コミュニティの衰退など町を維持する上であらゆる問題の発生が懸念される。町の対象別施策として、児童生徒等を対象に、島に帰ってきたくなる学びの島づくり、若年ファミリー層等を対象に、子育て世代に選ばれるまちづくり、女性、高齢者、移住者等を対象に、新たな産業、仕事づくり、区など地域コミュニティを対象に新たな共助のまちづくりを行う。経費節減は財源創出の工夫により対応し、継続事業につ

いても年度内の事業の達成状況に基づき事業を縮小すること、事業目的を達成したものは廃止するなどの方針で予算編成を行っている。新規重点事業は喫緊の最重要課題である人口減少対策や南海トラフ地震に備える危機管理対策として緊急性と重要性において実施する。

問

架橋（8号橋）への将来的取組は

答

引き続き国や県に要望する。

質問（尾尻議員）

現在、8号橋の建設については計画の予算規模も大きく、推進も困難となっているが、実現すれば、大きな効果が期待できる。今後

の取組方針は。

答弁（企画課長）

架橋要望は、広島県中部島地域架橋促進期成同盟会により、毎年、春、秋の2回国土交通省中国地方整備局と広島県土木建築局に、また年1回、秋に財務省、国土交通省、広島県選出の国会議員に対し、安芸灘8号橋を含めた架橋の実現に向けた検討を要望している。現在、安芸灘架橋連絡架橋は8号橋を残すのみとなっているが、相当な事業費を要し、今後の社会情勢を勘案しながら検討したいとの回答であり、引き続き関係市町と連携し、国や県に要望をしていく。

答弁（町長）

8号橋は悲願であると要望している。島にとつて橋がないと船が命であり、現航路の確保、航路の運営への支援を国に充実するよう求めている。船の利用をまず最優先に捉えており、緊急対応を含めて対応する。



もりおか いわお
森若 巖 議員

問

柿の浦住宅6階建設費用として利用した公営住宅建設事業債は2階建に変更しても再度利用出来るのか

答

難しいと思う。

質問（森若議員）

平成23年9月議会の答弁で次に建替える場合は現在の4階建を高層者が利用するので2階建とっていますとの答弁であったが6階建に変更になり公営住宅建設事業債を利用した946万円はムダ又2階建で計画しているが再度公営住宅建設事業債を利用出来るのか。

答弁（総務課長）

再利用は難しいと思いますが、新たにやっていた場合には借りられるよう努力していきたいと思います。

問

ある地区だけ予定価格公表入札に応札した業者の金額が同額なのはなぜか

答

最低制限価格の計算式があり公表していますのでその結果とっている。

質問（森若議員）

この問題は何度か指摘した。平成28年12件、29年9件、30年13件、令和元年8件、2年10件、3年5件、4年12件、5年7件、6年14件、合計90件。どのような理由でこのような結果になったのか又入札時に内訳書を提出するが開示請求したら頂けるのか。

答弁（総務課長）

予定価格公表入札の場合最低制限価格の計算式を公表しているので「くじ」になる。内訳書の提出には少し時間を下さい。



問

補助については他の市町の情報を収集するとの事でしたがどのような方法で行ったのか。

答

県内23市町に対して主に聞き取りによって行った。

質問（森若議員）

今現在は値上げは考えていない。補助についても他の市町の情報を収集するとの事であったがどのような方法で収集したのか。

答弁（教育課長）

県内23市町に主に聞き取りで行った。結果は本町を除くと9市町が値上げしない、3市町が値上げを予定している。残りの10市町は検討中とのこと。

問

町道大久保線改修工事の事業目的を3度も変更してまでおし進める理由は

答

トンネルの点検の結果維持管理が困難又トンネル部分1.9Mを拡幅して車道として利用するため

質問（森若議員）

この工事は令和3年にトンネル部分320Mを拡幅して車道として利用その目的は上組区と白水区を結ぶ大切な生活道路、次は町道下組、矢弓線が災害で利用出来ない時の回路、次はトンネルの先にある配水池の水道施設の維持管理に利用出来るとの事。今現在白水、小原線を利用して水道

答弁（建設課長）

今後、トンネルとしての維持管理は困難であると判断したこと。白水からの道では2t車が限界でトンネル部分320Mが改修出来れば大型車が利用出来るので水道施設維持管理が容易になる。

質問（森若議員）

私の資料によると令和5年に計上した1億6,000万円でトンネル部分の改修でなく横のミカン畑にあらたに代替道路幅4M長さ700Mの車道とあるが。

答弁（建設課長）

横のミカン畑に計画しており改良工事は320Mでその接続を考えて700Mとしています。

質問（森若議員）

接続部分には工事費は必要なのか、事業費1億6,000万円、工事は令和7年度から諸物価高騰、道路幅1.9Mが4M、長さは320Mが700Mに変更になりこの事業費で出来るのか。

答弁（建設課長）

現時点では1億6,000万円の事業費で執行したいと思っている。

質問（森若議員）

財政調整基金は年度間の財源を調整する積立金と思うが一般家庭に置き換えると貯金か。

答弁（総務課長）

町の財政調整基金条例に基づき災害復旧、地方債の繰上償還等の財源不足を生じた時の財源を積み立てるために設置されたもので町の貯金。

質問（森若議員）

令和7年度も財政調整基金をいくらか取り崩したと思いますが「いつまでもあると思うな親と金」ということわざがある。無駄に近い事業、補助金等を見直していかないと枯渇する事が見込まれるが。

答弁（総務課長）

今年度の予算編成方針にもやってくる事業削っているものの方針を出して予算編成した。いろいろな分野で財源確保等をして取崩が少ないよう努力している。



閑田議員

町議会議員として
15年以上在職者

全国町村議会議長会表彰

議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**6月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。
(※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。)



iOS



android



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：閑田大祐 副委員長：渡辺年範
委員：進藤雅通 水橋直行 森 ルイ

令和6年12月の大崎上島町議会定例会以降に開催した、委員会での主要な調査、協議事項及び、継続審議した内容と事業内容の審議について報告します。

○教育課

Q・文化財保護費で野賀權伝馬艇庫の修繕費が入っているが、權伝馬の修繕費も出してもらえないのか

A・權伝馬については地域の財産であるため地域でとなる。艇庫は町の財産なので町で修繕する。

Q・野賀の權伝馬艇庫は町の管理と言われたが、東野地区も要望すれば艇庫を設置してもらえるのか

A・実行委員会でも方向性を決めてもらうことになる。各区に設置にはならない。

Q・小学校の通学バスの利用できる区分けはA・距離。

Q・老朽化している教員住宅を今後どのようにしていくのか

A・老朽化しており教育委員会としても課題であるとして認識しているが、財源等の関係で難しいところもあり課題と認識している。

○福祉課

Q・シルバー人材センター事業の登録者数はA・36～37名程度。

Q・地域子育て支援拠点事業が未実施となっているところ収入見込み額があるがA・子ども子育て支援交付金の別事業は実施しているので、その収入はある。

Q・外出支援のボランティアは足りている状況なのかA・外出支援の申請に対して外出支援の支援員はそこまで伸びていないのでなかなか全ては対応出来ていない。

Q・施設介護サービス給付費が減っているのは施設利用が減っているということなのか

A・介護老人施設や介護老人保健施設、介護医療院を利用する住所地利例の方が多分かなり減っている。

○保健衛生課

Q・産前産後保険料軽減制度とはA・妊婦さんの産前等4ヶ月（産前産後の2ヶ月＋2ヶ月）の4回の保険税を免除するもの。

Q・合併浄化槽で補助金をもらっている世帯が下水道に接続した場合、合併浄化槽で支給された補助金の取り扱いはA・例はないが出し切りの補助金なので返還義務は生じない。

○住民課

Q・アンケートについて無作為抽出ということだが、回答が困難な高齢者の方にも送っているのか

A・年齢層割で抽出するようになっていて、あま

りにも高齢の方には配慮をしている。

Q・アンケート調査結果の検証をA・現在分析中なのでその後検証する。

○総務課

Q・新しく健康福祉課とあるが、元々は合併した時に保健福祉課だったものを分割したはずで、結局事務量の業務的にも1つでやるのが困難ということと2つに分けたはずが、また1つにするというのはA・課を超えて協力して業務をしているところもあり、連携が取れやすいようにしたい。

Q・事務所はどうするのかA・健康福祉課内の机の配置等については検討しないといけない。環境衛生課は大崎支所に移る。

産業建設常任委員会報告

委員長：森若 巖 副委員長：上青木至
委 員：浜田幸造 信谷俊樹 尾尻康二

令和6年12月定例会以降の委員会報告を行います。各課から2月定例会で議案となる主な条例案、補正予算案、繰越事業の進捗状況などの説明を受けて審議をしました。

○地域おこし協力隊の欠員による確保の見通しは

※2名採用予定です。3月1日、4月1日に。

○学習交流センターの生徒は今どんな状態なのか

※全部で部屋数は30です。今現在空き部屋がある状況です。部屋の構造上2部屋がセットで間仕切りになるので女の子が奇数であれば空き部屋を作らないといけないので満杯にならない事もあります。



○明石く小長フェリー航路の負担割合を1/2にした理由は

※1/2であれば同等に意見が言えるのと便数について12便で呉市が了承したので本庁も1/2の同等でいいと判断しました。

○12便必要なのか

※12便なら1時間きざみ位で船が発着出来るといふ事であつて仮に10便にすると昼に2時間、3時間空く時間が出来るのでそういった所を是正するためには12便が必要です。



○下水道管の点検は

※例年カメラを入れて検査をしており全国どこでも5年に1度検査をするよう取り決めがあるので本町では昨年度実施しました。

○管の材質は
※VU管です。圧送管については鉄鉄管です。

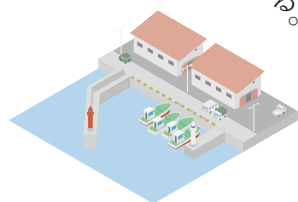
○海上バス（ゆき姫）の試験運転の今現在の利用者数は

※延べで21名です。

（令和7年2月2日現在）

○3月末までやって4月以降継続するかどうかのラインは

※今回は試験運転なので目的とデータが欲しいので令和7年度は夏の3ヶ月位で試験して令和6年度、令和7年度の結果を踏まえて令和8年度から国の離島活性化交付金を使って令和8年度から3ヶ年の補助金の期間中で事業者が採算性が取れるような事になればいいなと一応イメージとして計画している。



○デマンドバスの乗降ポイントの見直しを検討してもらえるのか

※現場を確認しながら検討する。



○イターンの人が家と農地を同時に購入している方がいるが農地売買は農業委員会に諮るのか

※農地の売買は必ず農業委員会を通す事が必要です。

○定住促進住宅は民間に補助金を出して建ててもらった方がランニングコストを考えればその方がいいのでは

※そう思います。補助金についても議論をお願いしたいと思っています。



大崎上島町議会議員

3月23日の大崎上島町議会議員選挙において、新たな議員10名が決まりました。
令和7年4月1日から令和11年3月31日までの4年間、大崎上島の町政の発展のために
活動していきます。どうぞよろしくお願いいたします。(50音順)



ふりがな 名前 しもすえ のりかず
住所 東野1745-2



ふりがな 名前 かんだ だいすけ
住所 中野1470-2



ふりがな 名前 あかまつ よしお
住所 原田2-13



ふりがな 名前 のぶたに としき
住所 明石2492



ふりがな 名前 すえみつ とおる
住所 東野634-4



ふりがな 名前 しんとう まさみち
住所 大串539



ふりがな 名前 わたなべ としのり
住所 東野163-1



ふりがな 名前 もり ルイ
住所 東野1169-3



ふりがな 名前 みずはし なおゆき
住所 中野4593-28



ふりがな 名前 はまだ こうぞう
住所 木江5076

副議長



水橋 直行副議長

議長



閑田 大祐議長

委員会委員決定

産業建設常任委員会 (5名)

企画課、地域経営課、建設課、環境衛生課
の所管に関する事務



委員長	赤松 良雄	
副委員長	下末 典和	
委員	浜田 幸造	水橋 直行
	信谷 俊樹	

総務福祉文教常任委員会 (5名)

総務課、税務課、住民課、健康福祉課、教
育委員会の所管に関する事務



委員長	進藤 雅通	
副委員長	森 ルイ	
委員	末光 透	渡辺 年範
	閑田 大祐	

広報調査特別委員会



委員長	森 ルイ	
副委員長	末光 透	
委員	赤松 良雄	水橋 直行
	進藤 雅通	下末 典和

議会運営委員会



委員長	赤松 良雄	
副委員長	進藤 雅通	
委員	森 ルイ	
	下末 典和	

追跡 あれからどうなった

(令和6年3月定例議会一般質問から)

質問

町道沖浦本郷線に防犯外灯の設置を

回答

現地を調査し、検討していく

その後の経過

町道沖浦本郷線は、沖浦地区と本郷地区を結ぶ重要な幹線道路ですが、山越えの道路で、夜間は暗い道路となっています。

沖浦側は、視線誘導標の数を増やしました。続いて、本郷側についても、視線誘導標の設置を予定しています。



編集後記



令和7年第一回定例議会も終わり大崎上島町議会も改選となり、町議会選挙がありました。

新たな10人での議会運営が始まります。

これから、町民の皆様が安心して更には豊かな気持ちで生活ができるようしっかりと議員活動に努めます。

さて、88号を持ちまして現在のメンバーでの議会だ

より作成は終わりとなります。

次回からは、新しいメンバーで議会だよりを編集することとなります。

発刊時には新しいメンバーの紹介もされます。

この4年間ありがとうございました。

また、新しいメンバーになつてからもどうぞよろしくお願いいたします。

(N・M)



議会広報委員

委員長 水橋直行
副委員長 浜田幸造
委員 森若 厳

進藤雅通
森 ルイ
上青木至

大崎上島町議会

TEL(0846) 6 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX(0846) 6 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>